

R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	要望事項	要望事項（文書回答）の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
1	千代川町自治会	<p>桂川舟運歴史体験・展示施設及び船着き場の運営方法・活用策について</p> <p>① 亀岡市から府へ提出された要望書の内容はどのような内容ですか。又、地元の要望はどのように入っていますか。</p> <p>② 管理運営体制について、約2か年で民間事業者等、指定管理にむけて検討されると聞きますが、それまでの期間はどこが管理されますか。</p> <p>③ 川遊び・水遊びや、自然体験レジャー等、市長がおっしゃる「川の駅」として夢が膨らみますが、どのような内容・計画でしょうか。</p> <p>④ 保津川遊船(企)豊田理事長は、現地を見て川東方面の山並みや川を下ってみて素晴らしく夢が膨らむと、構想・計画を熱く語っておられ心強く感じましたが、保津川遊船(企)とは具体的にどのように協議されていますか。</p> <p>⑤ 浅瀬があり、今の状況では保津川下りは難しいとの事ですが、現保津川下りでも豪雨で川の形状変われば「川作」で航路を確保されており又、長良川でも、常にショベルカー・ブルドーザー等重機で航路確保されています。河川法等、課題はありますが舟一隻の航路確保は可能と考えますがどうですか。</p> <p>⑥ 本施設の前面道路は狭い生活道路であり又、府道宮前千歳線から右折左折での大型バスの進入は困難と考えます。多くの観光バス・乗用車等が流入した場合、駐車場の確保はどうされるのか、又、騒音公害、ゴミ等が発生すると考えられ地元は不安である。対策はどうされますか。 (続く)</p>	<p>① 京都府において実施された地元説明会(令和元年12月20日)において出されていました交通対策をはじめ、環境対策、防犯対策などを中心に、ハードとソフトの両面から京都府に要望いたしました。</p> <p>② 指定管理制度に移行するまでの間は、清掃や警備などの業務ごとに民間委託を行いながら直営方式で管理することとしています。その間を利用して、河川をはじめ周辺環境を活用したアウトドアアクティビティの開発などを調査、研究していくこととしています。</p> <p>③ 現時点においては、具体的な手段や手法などについては何も決まっておりませんが、道の駅と同様に休憩機能、情報提供機能、地域連携機能などを有する複合施設にしたいと考えております。そのため、庁内においても産業観光部を中心に、生涯学習部(アウトドアスポーツ)や教育部(舟運歴史資料館)、まちづくり推進部(緑地公園)などが一丸となって取り組むこととしています。</p> <p>④ 過日、保津川遊船企業組合にご協力をいただき、京都府立ち合いのもと市長、副市長を先頭に当該施設から保津川下り乗船場までゴムポートによる視察を行ったほか、京都府とともに、指定管理をはじめ新たなビジネスモデル構築の可能性やスケジュール感などについて数回、協議いたしました。</p> <p>⑤ 増水の度に航路整備を行うには、莫大な経費が必要であり、現状、それらを公費負担することは難しいことから、当面はビジネスモデルとしての採算性に見合ったアクティビティを民間事業者に展開していただきたいと考えております。</p> <p>⑥ 現時点においては、どういった事業展開になるのかも不確定であり、大型バスなどでの来場も想定しておりません。また、施設のターゲット層となる若年層やアフターコロナにあっては、団体旅行から個人旅行へのシフトは一層加速するものと思われれます。なお、どういった利用形態になるにしても、騒音やごみなどの環境問題が発現した場合には、所管部署において法令等に基づき適切に対処いただけるものと考えています。</p>	産業観光部長	⑥その他	<p>①文書回答のとおりです。</p> <p>②③10月1日付で、当施設のにぎわい創出に係る河川アクティビティ等の施行業務について、保津川遊船企業組合へ委託契約をしました。</p> <p>今後は保津川遊船企業組合をはじめ、地域住民の皆様や各関係機関と一緒に多岐の方々に愛される施設となるように努めてまいりたいと考えております。また、当施設の愛称募集を実施中です(受付期間10月1日～31日)。</p> <p>昨年は当施設の可能性を探るために、千代川小学校の環境学習の場として活用いただきました。また、保津川遊船企業組合が中心となって小学生によるラフティング体験を試行しました。</p> <p>今後は、保津川遊船企業組合に関係団体や地元自治会、民間の事業者などで構成する「施設の運用に向けた関係者会議」を設置いただき、施設運用、事業展開に向けた協議、調整を行いながら、賑わいの創出やコミュニティの活性化につながる施設の運用方法などについて、協議を深めてまいりたいと考えています。</p> <p>愛称募集を実施した結果、166名の応募があり、愛称選考委員会による選考の結果「川の駅 亀岡水辺公園」に決定しました。愛称の発表は令和2年12月25日号の「キラリ☆亀岡お知らせ」及び市ホームページ等にて発表いたしました。</p> <p>④文書回答のとおりです。</p> <p>⑤京都府が実施する「新しい観光資源発掘事業(保津川遊船企業組合への委託事業)」において浚渫等が行われると伺っており、本市の委託業務(アクティビティ等の施行業務)と連携を図りながら進めてまいりたいと考えております。</p> <p>⑥文書回答のとおりです。</p>

R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	要望事項	要望事項（文書回答）の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
2	千代川町自治会	<p>(続き)</p> <p>⑥ 本施設の前面道路は狭い生活道路であり又、府道宮前千歳線から右折左折での大型バスの進入は困難と考えます。多くの観光バス・乗用車等が流入した場合、駐車場の確保はどうされるのか、又、騒音公害、ゴミ等が発生すると考えられ地元は不安である。対策はどうされますか。</p> <p>⑦ JR千代川駅を利用される観光客は徒歩でどのルートで本施設へ誘導されるのかお聞きします。</p> <p>⑧ 昨年2月構想発表、昨年11月27日、年内に地元説明会をして年度内に完成したいとの府文化スポーツ部からの急な依頼により、自治会として急遽、地元関係者協議・工事進入路確保、説明会日程調整等、急ピッチで行い、年末慌ただしい中、12月20日地元説明会(約100名)を行い、地元同意を得て工事着手、先日、立派に完成となりました。スタジアム周辺地域への活性化策としての事業であるのにその間、亀岡市は一切かかわらず、12月20日の地元説明会に同席(参加)していた吉村市産業観光部長は自治会長に対し、「これは府がやってるので、市は関係ない私は知りません。」とつれない言葉、府市協調の中で観光振興の拠点として地元あげて協力しているのに、今日まで地元自治会に対し、担当部課として本件について一度の連絡・協議もなく残念でなりません。亀岡市政の円滑な運営を願い、地元住民と市政をつなぐ、自治会の役割、位置づけについて、どのような考えをお持ちかお尋ねします。又、市内での京都府の事業に対し、亀岡市は地元協議調整等、一切かかわっておられないのかお尋ねします。</p>	<p>(続き)</p> <p>⑦ 当該施設へのアクセスの方法については、駐車スペースなども限られているため、府立京都スタジアムなどと同様にJRを中心とした公共交通機関での来場を呼び掛けてまいりたいと思っています。なお、JRからのアクセスについては、最短コースとなるメディアス亀岡3番館沿いの里道を通るルートの利用が中心になるのではと考えております。</p> <p>⑧ 多くの人から愛される施設として育てていくためには、地域住民の皆様のご理解とご協力が何より必要であると思っています。また、施設の竣工が遅れ、未だ地元自治会と直接のお話ができていることは大変申し訳なく思っております。将来に渡っての費用負担はもとより河川占用のエリアや事業展開の範囲など、府と市の協議が整い、施設の引き渡しを受けられるようになりましときにお伺いさせていただきますので、その折にはよろしく願いいたします。</p>	産業観光部長	同上	⑦⑧文書回答のとおりです。

R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	要望事項	要望事項（文書回答）の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
3	千代川町自治会	JR千代川駅の整備促進について	<p>JR千代川駅については、現在駅前広場とプラットフォームの段差解消のためのスロープ工事およびそれに伴う駅施設の改良を実施しており、今年度当初に西口は完成し、供用開始したところです。また、東口についても現在工事中であり、今年度末には完成します。これにより駅施設のバリアフリー化は実現することとなります。</p> <p>西口と東口を結ぶ自由通路については今年度から予算化を行ったところですが、財源となる国の社会資本整備総合交付金の十分な割り当て額が得られず、今年度の事業執行は困難な状況です。事業実施に向けては短期間で巨額の事業費が伴うことから、安定した財源確保のため国や京都府とも協議、要望を行っているところです。</p> <p>具体的な事業実施時期については財源の確保等の状況を鑑み、判断してまいりたいと考えております。</p>	まちづくり推進部事業担当部長	①実施 ②実施予定	<p>(JR千代川駅バリアフリー化)</p> <p>JR千代川駅東口のバリアフリー化は2月11日にスロープ部、新改札口が供用開始を行い完了したところです。</p> <p>(JR千代川駅東西自由通路)</p> <p>文書回答のとおりです。</p>
4	千代川町自治会	<p>かわいい子供達の教育環境の整備及び通学路の安全対策について</p> <p>《小学校の増築》</p> <p>小学校の増築に係る国庫負担金認定申請の状況は。</p>	<p>千代川小学校の校舎増築に係る公立学校施設整備費国庫負担金事業については、国から事業認定をされたところです。令和2年7月1日付けで交付申請(本申請)しており、7月中に交付決定される予定です。交付決定後のスケジュールとしましては、令和2年10月頃に仮設校舎の建設着手を予定しており、その後本工事を順次進め、令和4年3月に完成予定です。</p>	教育部長	②実施予定	<p>千代川小学校の校舎増築に係る公立学校施設整備費国庫負担金事業については、国から令和2年8月3日に交付決定されたところです。</p> <p>今後のスケジュールとしましては、令和2年12月に仮設校舎完成。令和3年1～3月に既存校舎の解体。解体工事終了後、本体工事を進め、令和4年3月に完成予定です。</p>

R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	要望事項	要望事項（文書回答）の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
5	千代川町 自治会	かわいい子供達の教育環境の整備及び通学路の安全対策について (通学路(市道川関小林線)の安全対策)	<p>市道川関小林線については千代川小学校の通学路である一方、国道9号の抜け道として交通量が多く、歩行者等の安全対策が求められており、これまで路肩のカラー化や路面標示等様々な安全対策を実施してきたところです。</p> <p>市の交通安全対策と合わせて、これまでからも警察へ制限速度を時速30キロに変更するよう協議を行ってきているところですが、警察からは時速30キロでしか走れないようにする物理的デバイス(ハンプや狭さく)の設置を求められてきたところです。今年度は自治会等の協力を得て、物理的デバイスの設置も含めたうえで、警察と時速30キロ規制に向けた交通安全対策に係る協議を現在進めているところです。</p> <p>また、本路線の安全対策は国の個別補助事業にも採択され、財源も確保できたことから、今年度発注し、整備を完了させる予定です。</p> <p>よって、引き続き警察とは協議を進める一方、側溝の蓋かけ等着手可能な工事については速やかに進めてまいりたいと考えます。</p>	まちづくり推進部事業担当部長	①実施	<p>市道川関小林線の交通安全対策については令和2年10月9日より計8回京都府警本部をはじめ関係機関担当者が会議、現地確認を行い、交通安全対策をとりまとめ、令和3年1月18日から宮前千歳線の交差点において臨時交通規制(社会実験)を実施しました。また、平行して、狭さくや側溝の蓋かけも工事を実施しているところです。</p> <p>交通規制については社会実験後も本規制として継続することとし、制限速度を30キロの変更に向けては工事完了後に検討すると府警本部と伺っているところです。また、千原交差点の右折信号機新設なども来年度以降に検討されていると聞いており、今後も関係機関と連携をしながら安全な通学路確保に向けつとめてまいりたいと考えます。</p>

R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	要望事項	要望事項（文書回答）の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
6	千代川町自治会	通学路(市道川関小林線)の安全対策について	<p>【基本的な考え方】 日頃は通学路の安全確保のため、自治会・PTA・各種団体など地元の皆様に登下校時の見守り活動や啓発活動に携わっていただき感謝を申し上げます。 今後につきましても、セーフコミュニティの理念に基づく安全・安心のまちづくりは、市政の根幹であり、亀岡警察署など関係機関との連携のもと、交通安全対策を展開していきたいと考えています。</p> <p>【今後の対策】 ゾーン30指定については、亀岡警察署に確認したところ、幹線道路(外周道路)に囲まれている生活道路が集まった市街地等の区域を公安委員会が決定するとされており、当該道路については、付近幹線道路との位置関係等から、ゾーン30指定をすることは困難であるとの回答を得ています。 また、制限速度40キロから30キロへの引き下げについては、亀岡警察署に以前確認したところ、現道の状態でなく、ハンプや狭窄の設置という物理的な速度抑制対策等を実施する中で、京都府公安委員会が判断されると聞いております。当該道路に関しては、一部区域にハンプを設置する計画を進めており、年度内に完了の予定です。今年度の「府民協働型インフラ保全事業」にも提出していただいております。本市としても速度抑制が実施されるよう亀岡警察署等の関係機関に対し、速度規制を強く要請していきたいと考えております。 今後につきましても、地域住民の皆さん、亀岡警察署などの関係機関との協議・調整を図りながら、効果的かつ実施可能な交通安全対策を行うとともに、子どもの交通安全防止推進日における街頭啓発活動やペースメーカー車による通行車両に対する速度抑制の活動等、ソフト面による安全対策を実施していき、セーフコミュニティ認証都市として交通事故を未然に防ぐための対策を行い、安全・安心なまちづくりに努めてまいります。</p>	総務部長	①実施 ⑥その他	<p>昨年10月9日に市道川関小林線における安全対策を検討するため、交通安全対策協議会を立ち上げ、自治会の御協力も得ながら関係機関等で協議を進めてまいりました。今年1月18日から1ヶ月間、府道宮前千歳線からの南行右左折禁止の臨時交通規制(社会実験)を行い、2月18日から本規制に移行して交通安全対策を実施しております。併せて、速度抑制対策としてラバーポールや狭さくの設置、スクールゾーンの設定も行っております。 今後も、効果的かつ実施可能な交通安全対策を行うとともに、児童の通学の見守り、通行車両への安全運転意識の高揚のため、啓発活動も継続的に実施していきたいと考えておりますので、御協力頂きますようお願いいたします。なお、制限速度の引き下げについては、文書回答のとおりです。</p>

R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	要望事項	要望事項（文書回答）の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
7	千代川町 自治会	かわいい子供達の教育環境の整備及び通学路の安全対策について 《通学路(市道川関小林線)の安全対策》	<p>本市では、通学路の交通安全を確保・向上していくため、「亀岡市通学路交通安全対策プログラム」を策定し、その中で亀岡市通学路交通安全推進会議を設置しています。</p> <p>同会議では亀岡市の道路関係、総務関係、教育委員会の3者が一次機関としてプログラムを運用することとしており、国道事務所や南丹土木事務所、亀岡警察署を二次機関として必要に応じて連携して通学路の交通安全対策及び安全点検等を実施していくこととしています。</p> <p>市道川関小林線の安全対策につきましては、亀岡市通学路交通安全対策プログラムに掲載しており、同プログラムに基づき、関係機関と連携して実施に向けて進めてまいりたいと考えております。</p>	教育部長	③検討	文書回答の内容のとおりです。